

議席10番

田山 文雄 議員

○地方創生戦略の推進について

Q 「まち・ひと・しごと」を創生する戦略を立てるための人材の確保について。

A 戦略会議のメンバーのほか金融機関等有識者に加え、意見・提案等をいただきながら策定していきたい。

(秘書公室長)

Q 周辺市町村との連携のあり方について。

A 人口減対策と地域活性化を図る観点から意見交換などを行い、共通の課題など情報の共有を図って参りたい。

(秘書公室長)



田山 文雄 議員

Q 地方移住の推進についての現状と今後について。

A 地方への新しい人の流れをつくるため、しごとの創生を図りつつ、若者の地方での就労を促すとともに、地域内外の有用な人材を積極的に確保・育成し地方の移住・定着を促進して参りたいと考えております。

(秘書公室長)

Q 結婚・出産・子育て・教育の環境整備の現状と今後について。

A 地域の実情に即し、若い世代が安心して就労し、希望どおり結婚し妊娠・出産・子育てができるような地域づくりに向けた環境整備等の取り組を推進していかなければならないと考えております。

(秘書公室長)

Q 地場産業の競争力強化の取り組みについて。

A その地域にとって経済の活性化につながる強みを持った事業・産業を特定し、新事業・新産業と雇用を生み出すための包括的操業支援や地域に根付いたサービス産業の活性化・付加価値向上や農林

水産業の成長産業化、観光地域づくりなどに取り組み、地場産業の雇用創出力の向上を図って参りたいと考えております。

(秘書公室長)

○生活習慣病予防の促進について

Q コンビニ健診の推進で生活習慣予防を促進している自治体もあるが、当町の取り組みについて。

A 平日に受診出来ない方のために土日健診を実施し、受診機会の拡大と受診率の向上に努めております。

コンビニを活用した健診は、まず効果等を含め、先行実施している先進自治体の状況を、今後、調査研究して参りたいと考えておりますので、ご理解の程よろしくお願いたします。

(福祉部長)

○高齢者の肺炎球菌ワクチンの助成について

Q 昨年10月より国の定期接種化が実施をされたが、国の指定された年齢以外の高齢者の方に対しての助成を町独自で行う必要がある

と思いますが、当町の考えについて。

A 今後、高齢者の疾病予防の観点から、県内各自治体の状況を踏まえ、限られた財源の中で、任意接種が可能かどうか検討して参りたい。

(福祉部長)

○インターネットリテラシー・情報マナーの取り組みについて

Q 青少年が安心・安全にインターネットを利用できる環境の整備が進むことが望ましいと思うが、当町の現状と取り組みについて。

A ネット依存やメール、ラインの利用上のいじめ問題やトラブル等がますます増加、深刻化の傾向が予測される中、特に児童・生徒の発達段階に応じて、様々な情報手段に慣れ親しみ、基本的な操作や情報モラルを身に付け、適正に活用できることを図っていききたい。

(教育長)

